

No	1
----	---

事業年度	自	平成22年3月1日	法人コード	A003965
	至	平成23年2月28日	法人名	社団法人日本水産学会

別表C(5) 特定費用準備資金

別表C(2)控除対象財産における 4. 特定費用準備資金の明細となるほか、別表A(1)及びA(2)収支相償の計算における公益目的事業に係る特定費用準備資金に関する調整、別表B(5)公益目的事業比率算定に係る計算表における特定費用準備資金当期積立額、別表C(1)遊休財産額の保有制限の判定における特定費用準備資金の公益実施費用額への算入額の算出に用います。

事業番号	公 1	特定費用準備資金の名称 (貸借対照表科目名)	国際研究・交流資金
	将来の特定の活動の名称	創立85周年記念国際シンポジウム, アジア水産学会大会	
	当該活動の内容	日本の水産関係者が最新の研究情報を発信・入手するとともに世界の水産研究者と交流する機会を提供し, 水産学の発展に寄与することを目的として, 数年おきに国際会議を開催している。日本水産学会が創立85周年を迎える平成28年度(2016年)に, 創立85周年記念国際シンポジウム(兼アジア水産学会大会)を東京において開催する予定としている。	
	計画期間(事業年度)	平成 22 年度 ~ 平成 28 年度 (7 年間)	
	当該活動の実施予定時期	平成28年度	
	積立限度額の算定方法	予想経費見積額 6,000万円のうち 75% 大会参加費等より充当 25% 学会負担 $60,000,000円 \times 0.25 = 15,000,000円$	

1. 控除対象財産における特定費用準備資金並びに公益目的事業比率における当期積立額及び取崩額の計算【計画全体】

年度	利益の繰入割合(※1)		積立額	取崩額	特定費用準備資金の額 (累計)	積立限度額
	50%	50%超				
22	○		10,000,000円		10,000,000円	15,000,000円
23			1,000,000円	円	11,000,000円	15,000,000円
24			1,000,000円	円	12,000,000円	15,000,000円
25			1,000,000円	円	13,000,000円	15,000,000円
26			1,000,000円	円	14,000,000円	15,000,000円
27			1,000,000円	円	15,000,000円	15,000,000円

28			0円	15,000,000円	0円	0円
----	--	--	----	-------------	----	----

※1 当該年度の収益事業等の利益の繰入割合について、該当欄を選択してください。

【当年度】（計画全体のうち、当年度分の数字を転記）

年度	積立額	取崩額	特定費用準備資金の額 (累計)	積立限度額
22	10,000,000円		10,000,000円	15,000,000円

算出した数値を、各事業別に、それぞれ、別表B(5) V（特定費用準備資金当期積立額）に転記してください。
算出した数値を、それぞれ、別表C(1)の特定費用準備資金の公益実施費用額への算入額(19欄)に転記してください。

2. 公益目的事業全体の収支相償における公益資産取得資金の当期積立額及び取崩額の計算

【当年度】 ※2 収支相償上の積立額は、収支相償上の積立限度額の範囲内で記載してください。

年度	収支相償上の 積立限度額	収支相償上の積立額 ※3	収支相償上の特定費用 準備資金得資金の額(累計)
22	2,500,000円	2,500,000円	2,500,000円

収益事業等の利益の50%を公益目的事業財産に繰り入れる場合には、算出した数値を、別表A(1)（収益事業等の利益額の50%を繰り入れる場合）の公益目的事業に係る特定費用準備資金に関する調整(10欄)（費用）に算入してください。
収益事業等の利益の50%超を公益目的事業財産に繰り入れる場合には、算出した数値を、別表A(2)（収益事業等の利益額を50%を超えて繰り入れる場合）の公益目的事業に係る特定費用準備資金に関する調整(11欄)（費用）に算入してください。